

2024年 10月 1日

臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

急性期脳卒中患者における拡散テンソル画像を用いた皮質脊髄路・皮質網様体路・脊髄視床路の損傷度と回復期リハビリテーション病棟退棟時の機能及び能力との関連性

2. 研究責任者

海南病院 リハビリテーション室 井上 颯馬

3. 研究の概要

当院にて入院した脳卒中患者さんのうち、主治医の指示のもとMRI(拡散テンソル)を撮影し理学療法介入がなされた後、偕行会リハビリテーション病院へ転院された方の回復期退棟時の機能及び能力に関する因子について検討します。

4. 研究方法

① 対象となる患者さん

2023年4月～2026年3月までに脳梗塞・脳出血で当院に入院した患者さんのうち、MRI(拡散テンソル画像)を主治医の指示のもと撮影し、理学療法介入後、偕行会リハビリテーション病院へ転院となった患者さんを対象とします。

加えて、発症前に歩行介助が必要なく身の回りのことが自立されていた患者さんを対象とします。

② 使用する試料等

カルテ情報：年齢、性別、疾患別理学療法単位数、発症日、発症日から偕行会リハビリテーション病院退院日までの日数、偕行会リハビリテーション病院転院日、病名、脳損傷側、入院前 modified Ranking Scale(mRS)、拡散テンソル(皮質脊髄路・皮質網様体路・脊髄視床路の fractional anisotropy(FA)値、描出線維数)、Glasgow Coma Scale (GCS)、Stroke Impairment Assessment Set (SIAS(運動機能・感覚・体幹機能))、Brunnstrom Stage (BRS)、Trunk Control Test (TCT)、Scale for Contraversive pushing(SCP)、歩行自立可否など通常診療で得られるデータ。

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

当院と偕行会リハビリテーション病院と情報交換する際は、患者氏名、生年月日、カルテ番号、住所、電話番号等の個人情報を削除し、発症日・病名・偕行会リハビリテーション病院転院日のみをパスワード管理されたファイルで院内メールを用いて共有します。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 リハビリテーション室 井上 颯馬

電話：0567-65-2511（代表）